



運 営 協 議 会 だ よ り

第7号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第7回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成29年12月19日 16:00～17:30

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

1. 校長挨拶

2. 内容 校長先生より

30年2月8日(木) 新宿区研究発表「共に未来を創造する子どもの育成」

9:40 6年生プログラミング公開

10:30 全学年全学級公開

11:30 全学年全学級公開 3～6年落六 DASH

13:30 全学年全学級公開

14:30 研究発表 これからの教育を語る有識者によるシンポジウム

30年10月6日(土) 60周年記念式典

10:00～11:00 式典

11:00～12:00 落六 DASH 発表会 アトラクション

31年3月2日(土) 未定 <3月頃土曜日を想定>

落合第六小学校 オープンキャンパス

授業公開・落六 DASH 成果発表会

【意見交換】 近藤会長進行 (2名の担任の先生にお聞きしたいことなどありましたら)

- ・人前で発表することがどんどん磨かれているように感じます
- ・本来消極的な子どもが多い落六で発表する機会が増えることは期待しています

質) 能力の差はどのように引き延ばしているのか?

先生) 素直で良い子だが人前にでるのが苦手(落六の弱点)⇒子ども主体の授業に改革

DASHの中でそれぞれの班に分かれると6年生は自然とリーダー性が磨かれる

全校町会の司会など人前に出る機会を増やすことで成長している

質) 校長の考えは能力差で高い子を伸ばせば低い子も底上げするという考えでしたが、実際どのような状況でしょうか

先生) ミニホワイトボードを使って考えを示したり、意見をまとめたりしますが、能力の高い子は活発に意見を出せますがそうでない子は難しいこともある アクティブラーニングだけでは身につかない
質) 伸びた子どもが他の子に教え合うことはありますか?

先生) 算数の授業のときグループで問題を解く場面で、教師が教えないで待つと出来る子が解き方を教えたり、逆にできていない子が聞いたりしている

先生) 学力が伸びるのは授業を聞き取れることで、聞き取ることが苦手な子が学力は伸びない、教師の言葉よりも子どもの言葉の方が聞き入れやすいようで授業の中でそのような場面をいまず見て真似する—上手に発表出来る子の場면을沢山つくる

- ・出来ない子は見捨てられたら希望を無くす→教育は希望をなくしてはならない

・昔は兄弟も多く自然と競い合いが身についたが現在は中々難しい

先生) 早く課題が出来た子には余計にプリントを渡すなどしますが体育以外では中々場面がない

・人はみんな同じでやれば出来ることが分かれば伸びる きっかけが大事

先生) 達成目標はそれぞれ違うので成長の変化は見逃さないようにする たまには簡単な課題を出して出来たことを褒める 手を変え、品を変えて行っていきます

校長)『今を知り、未来を拓く』 今を知るー漢字・算数(基礎知識) 未来を拓くー社会で使える学力

・調べ上げることが大切

・図書館は担任の先生と蜜の連携をとって教材図書をそろえていきたいです

・地域センターの部屋を DASH で使うため子どもが取りに来たが最初は説明不足で使用許可が出なかったその後使用目的をきちんと説明することで使用許可が下りたー社会で使える学力

・DASH はリアルにふれ、だめならば挫折をあじわい自分ごとにつなげるー時代に合った取り組み

・縦割り班活動は兄弟の少ない現在子ども同士で教え合うとても良い機会になっている

・DASH のための事前準備を高学年が3年生に分かりやすく行っていたー思いやりを持って

* デジタルデータは消えるときは一気に消えてしまうのでバックアップ処理を厳重に行って下さい

【次回の予定】

2月13日(火) 16:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

近藤 弘文、橘 完太、北野 清治、鈴木 正実、篠田 邦子、亀井 治子、水上 真理

竹村 郷、大久保 京子(書記兼務)

庖刀 由利子(副校長)、

平川 智晴(教務主幹)、新保 有希子(研究開発主任)

遠藤 剛(落合第二地区 特別出張所 所長)

久保田 功一(教育支援課)